

9/26 小浜キャンパス

10/3.4 あわらキャンパスにて、AED講習会が開催されました。



あわらキャンパスの様子

【小浜キャンパス】

毎年、2年生の後期オリエンテーション後にAED研修を実施している。対象者は2年生全員他、部活動と海友会代表者、教職員。今年度は、2年生参加者48名/52名92.3%、部活動の代表者や海友会からの参加を含め、56名/65名、86.2%の参加率であった。講習会終了後は、保健職員からAED設置場所の説明があった。

【あわらキャンパス】

毎年、後期授業開始時に授業の一環としてAED研修を取り入れている。今年度は、生物資源学部 創造農学科の1年生参加者33名全員、2年生33名（参加率97%）が参加した。



学生からの意識の高い声（あわらC）

- ・ Aさん：AED研修に参加して、講習会を重ねていけば自分が倒れている人をみたら、人命救助をやるという自信につながった。
- ・ Bさん、成人は、何事にも責任のある行動を行うという意識があり、今回AED研修を受けたことでより、人命救助を行うことが成人(社会人)としての責任ある行動をすることの一つであり、大切さを学んだ。

消防隊員より（あわらC）

- ・ AEDを使用の際は、胸をはだけるので櫃ず他の人から見えないように配慮する。例：後ろ向きに立ってもらい人垣を作る。タオルや衣服をかける。動画など撮らないように声をかけ注意する。
- ・ サイレンが聞こえ救急車が近くに来ると、安心して心臓マッサージをやめてしまいがちだが、救急隊員が心臓マッサージを引き継げるまで手は止めない。AEDのパッドなども外さずそのまましておく。との留意点が聞かれた。

多人数ながら、和やかな雰囲気の中で受講（小浜C）

- ・ 以前、講習会を受けた学生に「君は、ばっちりやからこのグループは君中心にやってもらうとよい」と消防士から太鼓判を押された学生や、「今なら救命処置できそう」という声も聞かれた。
- ・ ライフセービングの部に所属している学生さんは、普通救命講習会を必ず受講してもらっているとの事だった。



よかった点、反省点（小浜C）

- ・ 2年生の後期オリエンテーション後の時間を設定していることと、環境面や講師の条件が揃い、2年生全員の参加が可能。
- ・ 感染予防：実技の場所を教室より広いホールで行い、入り口教室の窓等も開放するなどの対応ができた。
- ・ コロナ禍で3・4年生が受ける機会を設けられなかったことで、学生支援担当の案で部活動と海友会代表者に来てもらおうということになったが、参加者はやや少なかった。